

感覚統合療法のご案内

こども支援ルームでは、お子さんの発達のアンバランスについて子育て支援および感覚統合的な視点での相談及び療育（治療・教育）を行います。

発達に何らかの困り感があると考えられるお子さんへの対応

なぜ、発達にアンバランスが生じるのか？

アンバランスの原因の一つとして、脳の働きに偏りがある可能性があります。そのために、**先生の話最後まで聞くことができない、同年代の子供と仲良く遊べない、何かしようとしてもとても不器用である、いつもじっとしていられず落ち着きがない、ある特定の教科だけ成績が悪い、言葉の発達が遅れている**などといったことが起こります。

このようなお子さんには、「からだ」や「こころ」の状態に何らかの遅れや偏りが考えられますので、それらすべての面に対して発達を促すような取り組みをする必要があります。

それでは、なぜ脳がうまく働かないのか？これにはいくつかの要因が考えられていますが、未だ不明な点が多いです。可能性としては、多因子遺伝、早産、低体重出生児、難産などによる出生時の脳の発育がうまく促されなかったことなどが考えられております。

どうしたらいいのだろう！！

一度、専門的な検査や治療を受けてみることをおすすめします。実際に検査をしても必ず問題があるかというところではありませんが、そのお子さんの得意・不得意分野がわかり、周囲への理解や対応方法についてお知らせできます。さらに適切な支援、検査によってお子さんの苦手な部分に対するアドバイスと支援方法を一緒に考えます。

どんな療育方法があるの？

当事業所では、脳の活性化を促す療法として、1980年代より、アメリカの作業療法士 Ayers 博士が開発した**感覚統合療法を用いた作業療法**を行います。作業療法とはさまざまな作業活動を通して「からだ」と「こころ」の療育を行う方法です。例としては、子どもの好きな遊びを通して姿勢を良くしたり、手先の運動を通して細かい動作ができるようになったり、体がうまく使えないときに使い方を練習したりというようにあらゆる角度からそのお子さんに合った遊びや学習を提供していきます。さらに、遊びを通してさまざまな感覚刺激を入れながら脳の機能を活性化させ、脳の働きを高めることで教科学習を含めた能力の向上を目指し、最終的には自立支援を一緒に考えていきます。

